

社会資本総合整備計画
鈴鹿市における南海トラフ巨大地震に備えた
防災まちづくりの推進(防災・安全)

平成28年3月14日

三重県 鈴鹿市

計画の名称	1 鈴鹿市における南海トラフ巨大地震に備えた防災まちづくりの推進 (防災・安全)			重点配分対象の該当	—
計画の期間	平成28年度～平成28年度 (1年間)	交付対象	鈴鹿市		
計画の目標					

本市は南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法に基づく南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域 (平成26年3月指定) 指定されている。この南海トラフ地震に伴い最大クラスの津波が発生した場合、発生から約60分後に最大高さ約3mの津波が到達すると想定されています。このことから、津波被害想定区域内の避難困難者を受け入れる避難施設の整備を行い、大規模災害に備えたまちづくりを推進する。

計画の成果目標 (定量的指標)	①津波浸水区域内の若松小学校周辺500m区域内の避難施設受け入れ可能人数の割合を50.8% (H28当初)から93.2% (H28末)に増加させる。				
-----------------	--	--	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	①対象地域内の避難可能率=避難可能人数/対象地域人数					定量的指標の現況値及び目標値			備考			
						当初現況値	中間目標値	最終目標値				
						(H28当初)	(—)	(H28末)				
						50.8%		93.2%				
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	37.0百万円	A	37.0百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0%

交付対象事業

A1 基幹事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
										H28	H29	H30	H31	H32				
A1-1	都市防災	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市		都市防災総合推進事業 (若松地区)	地区公共施設等整備 (防災まちづくり拠点施設)・津波避難用外付け階段等整備 N=1ヶ所	鈴鹿市						37.0	—	—	
合計 (都市防災事業)											37.0							

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H28	H29	H30	H31	H32		
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H28	H29	H30	H31	H32			
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考

交付金の執行状況（平成29年3月3日更新）

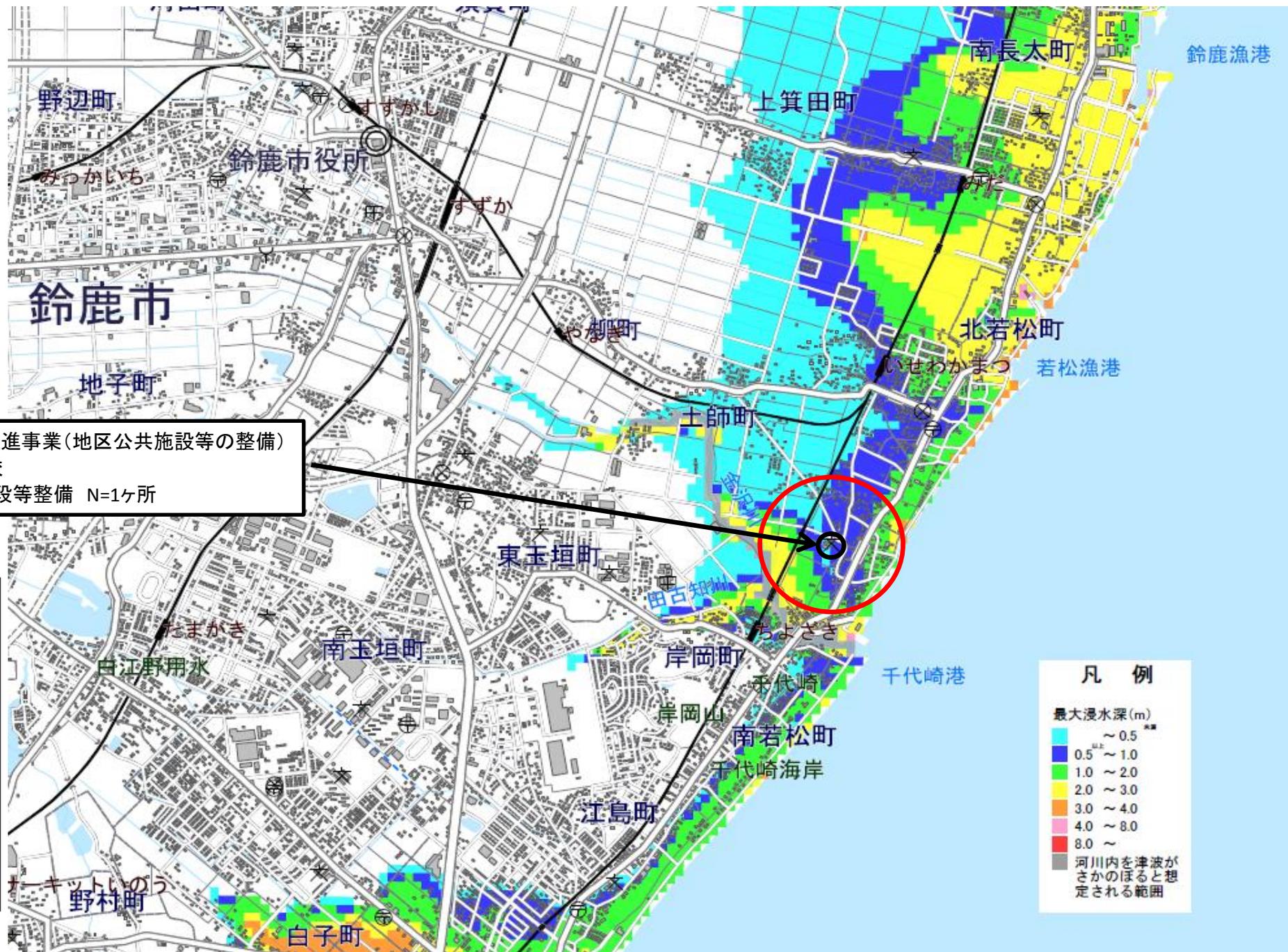
（単位：百万円）

	H28	H29	H30	H31	H32
配分額 (a)	13.0				
計画別流用 増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	13.0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	13.0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%				
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合 その理由	-				

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)

計画の名称	1	#REF!
計画の期間	#REF!	交付対象 #REF!



1-A-1 都市防災総合推進事業(地区公共施設等の整備)
 ■ 鈴鹿市立若松小学校
 ・津波避難用外付け階段等整備 N=1ヶ所



凡例

最大浸水深 (m)	
~ 0.5	■
0.5 ^{以上} ~ 1.0	■
1.0 ~ 2.0	■
2.0 ~ 3.0	■
3.0 ~ 4.0	■
4.0 ~ 8.0	■
8.0 ~	■
■ 河川内を津波がさかのぼると想定される範囲	

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 鈴鹿市における南海トラフ巨大地震に備えた防災まちづくりの推進(防災・安全)

事業主体名: 鈴鹿市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市防災事業計画との適合等	
1)上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)計画について住民等との間で合意が形成されている。	○
3)地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○